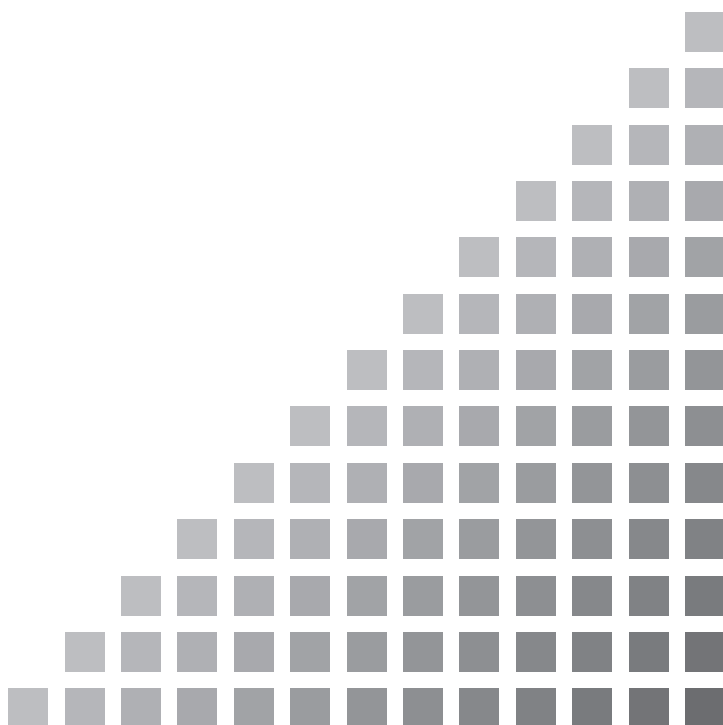




取扱説明書

振動レベル計データ管理ソフト

VM-53PA1



この説明書の構成

この説明書は、振動レベル計データ管理ソフトVM-53PA1の機能、操作方法などについて説明しています。

この説明書は次の各章で構成されています。

概要

VM-53PA1の構成について説明しています。

シリアル通信接続

振動レベル計VM-53、VM-53A、VM-52、VM-52Aとパソコンとの接続方法について説明しています。

準備

VM-53PA1のインストール、アンインストールについて説明しています。

メニュー画面

メインメニュー画面について説明しています。

リモート測定

VM-53PA1を使用した振動レベル計の設定、測定について説明しています。

データ読み込み

振動レベル計でストアした測定データの読み込みについて説明しています。

表示・編集

測定データの表示、編集について説明しています。

日報・週報ファイル作成

日報・週報ファイルの作成、表示について説明しています。

日報・週報データ表示

日報または週報の表示画面について説明しています。

カード設定情報ファイル

VM-53A の設定情報が記録されたCFカードについて説明しています。

* 本書中の会社名、商品名は、一般的に各社の登録商標または商標です。

取り扱い上の注意

- ・ 本ソフトウェアは振動レベル計VM-53、VM-53A、VM-52、VM-52A用です。
- ・ 取扱説明書をよく読んで正しく操作してください。
- ・ CD-ROMの使用、保管には温度変化、多湿、直射日光などに注意して取り扱ってください。

使用許諾契約書

重 要

本ソフトウェア製品を使用する前に以下の使用許諾契約書を慎重にお読み下さい。

本ソフトウェア製品をインストール、複製、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に拘束されることを承諾されたものとします。お客様はこの契約書を熟読のうえ、この契約書に規定されたすべての条項に同意し、この契約書に押印されたものとします。お客様が本契約書の条項に同意できない場合は、本契約に係る製品を使用せずに直ちに購入先へご返送下さい。

本ソフトウェア製品は、著作権法及び国際著作権条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。ソフトウェア製品は使用を許可されるもので、販売されるものではありません。

1．ライセンスの許諾

(1) 定義

本契約において、本ソフトウェア製品とは振動レベル計データ管理ソフト VM-53PA1ならびにこれを記憶保存する媒体、及び付属書類または電子文書を意味します。この使用許諾契約書は本ソフトウェア製品についてのお客様の使用する権利と使用の条件を規定するものです。

(2) 使用許諾

お客様は、本ソフトウェア製品をMicrosoft Windows 98SE operating system、Microsoft Windows 2000 operating system、Microsoft Windows XP operating system (32bit)、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows 7 (32bit、64bit) の適切な使用権を有するコンピューター1台にインストールし、使用することが出来ます。(Microsoft及びWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。)また、お客様は本ソフトウェア製品をバックアップの目的で一部のみコピーすることができます。

2．知的所有権

本ソフトウェア製品はお客様にその使用が許諾されるものであり、販売されるものではありません。

本ソフトウェア製品、付属のマニュアル等文書、及び本ソフトウェア製品の複製物についての著作権その他の知的所有権はすべてリオン株式会社に帰属します。お客様は本ソフトウェア製品に付された製品表示や商標権表示を除去してはいけません。

3. 制限

- (1) 本ソフトウェア製品に関するお客様の権利は、この契約に基づく本ソフトウェア製品の使用に限られます。この契約書はお客様にそれ以外の権利を付与するものではありません。従って、お客様はこの契約書が定める方法以外の方法によって、本ソフトウェア製品を使用することは出来ませんので、ご注意下さい。また、お客様は本ソフトウェア製品、マニュアルまたは関連資料の全てまたは一部を、“1.(2) 使用許諾”に定める以外、いかなる方法によってもコピーあるいは複製することはできません。本ソフトウェア製品、マニュアルまたは関連資料の無断複製は著作権法に違反しますので、十分ご注意下さい。但し、お客様は本ソフトウェア製品の各製品について、それぞれ一部のバックアップ・コピーを作成することができます。
- (2) 本ソフトウェア製品または関連資料の第三者への譲渡、貸与、使用権の再許諾や権利の委譲は出来ません。また、如何なる方法にせよ、お客様またはその使用人や代理人により第三者に前記事項を認めることは出来ません。
- (3) お客様は、本ソフトウェア製品をリバースエンジニアリング、逆コンパイル、あるいは逆アSEMBルすることは出来ません。
- (4) お客様は、本ソフトウェア製品を利用して、本ソフトウェア製品の模造品または類似品を作ることは出来ません。模造品または類似品の作成は著作権法または他の法律に違反することになりますので、十分ご注意下さい。

4. 契約条件の周知

お客様は、全ての本ソフトウェア製品の使用者にこの契約の条件を通知しなければなりません。書面により周知させるものとします。本ソフトウェア製品の使用者がこの契約書の条項に違反する行為をした場合、お客様がこの契約に違反したものとみなされる場合がありますので、使用者の行為には十分ご注意下さい。

5. 保証

- (1) リオン株式会社は本ソフトウェア製品が納入された時点において、本ソフトウェア製品の格納されたメディアの材質とできばえに重大な欠陥のないこと、及び本ソフトウェアが仕様書に明記された機能を備えていることを保証します。本ソフトウェア製品が仕様書どおりに稼働せず、且つこれがリオン株式会社の責に帰すべき事由によるときは、本ソフトウェア製品引渡後90日以内に発見され、且つ連絡された場合に限りリオン株式会社の費用において補修します。
- (2) 本ソフトウェア製品が仕様書の仕様どおりに稼働せず、これがリオン株式会社の責に帰すべからざる事由によるときは、リオン株式会社は有料にて補修します。

6．保証の制限事項

お客様は下記事項を理解し、同意します。

- (1) 本契約書の保証は商品性、または特別な目的の為の適合性保証等、明文化、非明文化を問わずその他の全ての保証に取って代るものであり、リオン株式会社はその他の保証は認めません。仮にリオン株式会社が潜在的な損失、損害の知識を有していたとしても、リオン株式会社の責任は特別な、間接的な、偶発的または必然的な、又は逸失利益を含む二次的な損害を一切含まないものとします。
- (2) 本ソフトウェア製品に関する本契約書で決められたリオン株式会社の責任及びその他全ての本契約書に関する履行、不履行のリオン株式会社の義務は、“5. 保証”に取り決められた内容に限られ、リオン株式会社の責任の範囲はお客様が本ソフトウェア製品の代価として支払われた金額を超えないものとします。

7．終了

本契約は終了されるまで有効です。お客様はいつでも、コンピュータープログラムと付属書類を含む本ソフトウェア製品を破棄し、コンピューター装置に存在する全てのコピーを消去することにより、契約を終了できます。また本契約は、お客様が契約の条項に違反した時にも終了します。この場合、お客様は本ソフトウェア製品を破棄し、コンピューター装置内に存在する全てのコピーを消去しなければなりません。

8．合意管轄

本契約に関し訴訟の必要が生じた場合には、東京地方裁判所をもって、第一審裁判所とすることにお客様は同意します。

目次

取り扱い上の注意	iii
使用許諾契約書	iv
概要	1
シリアル通信接続	3
準備	4
VM-53PA1のインストール	4
VM-53PA1のアンインストール	4
メニュー画面	5
リモート測定	9
データ読み込み	15
VM-53Aカードデータ読み込み	16
VM-53 / VM-53Aシリアル通信データ読み込み	19
マニュアルストアデータ形式	21
VM-52Aメモリーカードデータ読み込み	23
VM-52A管理ソフトデータ読み込み	25
表示・編集	27
日報・週報ファイル作成	34
日報・週報データ表示	38
カード設定情報ファイル	44

概要

振動レベル計データ管理ソフトVM-53PA1は、振動レベル計VM-53、VM-53A、VM-52、VM-52Aに対応したソフトウェアです。VM-53 / VM-53AのオートストアデータをコンパクトフラッシュTMまたはシリアル通信でパソコンに読み込み、測定データの表示・編集や日報、週報、テキストファイルの作成及び印刷処理を行なうことができます。また、VM-52Aについては、メモリーカードデータをシリアル通信でパソコンに取り込み、測定データの表示・編集や日報、週報、テキストファイルの作成及び印刷処理を行なうことができます。なお、本ソフトウェアではVM-52 / 52A 管理ソフト VM-52PB1 で保存した VM-52A メモリーカードデータファイルの表示・編集を行うこともできます。リモート測定については、VM-53 / VM-53A、VM-52 / VM-52Aの4機種に対応します。

	リモート測定 (シリアル通信による)	測定データ (ストアデータ)の 取り込み、表示・編集	日報・週報の 作成・表示	VM-53A用設定情報 ファイル作成
VM-53	○	○ (※1)	○	—
VM-53A	○	○ (※2)	○	○
VM-52	○	—	—	—
VM-52A	○	○ (※3)	○	—

- (1) : ストアデータ読み込みはシリアル通信でおこないます。
ストアデータ読み込みはマニュアルストア、Auto1 ストア、Auto2 ストアの 3 種類
- (2) : 測定データの読み込みは、メモリーカード(コンパクトフラッシュTM:以降CFカード)の場合パソコンのPCMCIAカードスロットまたはカードリーダーからおこないます。
内部メモリーデータの場合、シリアル通信でおこないます。
ストアデータ読み込みはマニュアルストア、Auto1 ストア、Auto2 ストアの 3 種類
- (3) : 測定データ(メモリーカードデータ)の取り込みはシリアル通信でおこないます。

本ソフトウェア使用時に必要な環境は以下の通りです

Microsoft Windows 98SE、Microsoft Windows 2000、Microsoft Windows XP (32bit)、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows 7(32bit、64bit)日本語版の動作する環境

Microsoft Windows 2000、Microsoft Windows XP(32bit)、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows 7(32bit、64bit)については、インストールおよび使用時の権限を administrator とする。

Microsoft Windows XP(32bit)については、Microsoft NET Framework Version 2.0 をインストールする。

振動レベル計 VM-53 / VM-53A / VM-52 / VM-52A

メモリーカード VM-53A : コンパクトフラッシュ™

VM-52A : S-RAM カード

コンパクトフラッシュ™ 使用の場合、パソコン側には PCMCIA カードスロットもしくはコンパクトフラッシュカードリーダーが必要です。

シリアル通信で測定データを取り込む場合は、シリアル通信ケーブルが必要です。

VM-53 / VM-53A: 市販の RS-232-C クロスケーブル
(VM-53 / VM-53A のコネクタ形状は D-sub9 ピンオス)

VM-52 / VM-52A: CC-87E(パソコン側 D-sub9 ピン) または CC-87(パソコン側 D-sub25 ピン)

動作環境

MMX Pentium 233 MHz 以上、メモリー 128 MB 以上

推奨動作環境

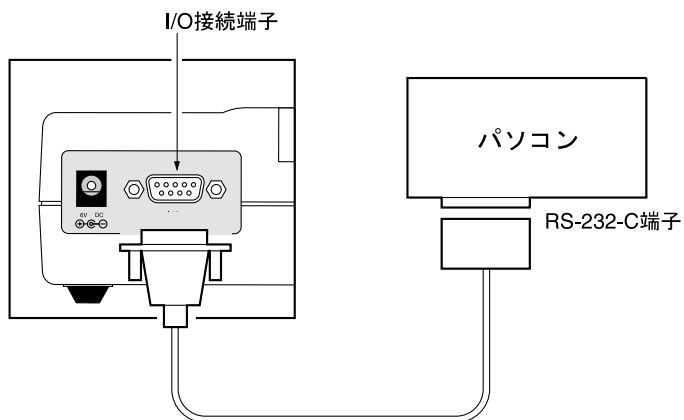
Celeron 500 MHz 以上(または相当品)、メモリー 256 MB 以上

ハードディスク必要容量

100 MB 以上

シリアル通信接続

シリアル通信ケーブルで、パソコンのRS-232-C端子と振動レベル計のI/O接続端子を下図のように接続します。



VM-53 / VM-53A: 市販のRS-232-Cクロスケーブル(VM-53 / VM-53A側コネクタはD-sub9ピンオス)

VM-52 / VM-52A: CC-87E(パソコン側D-sub9ピン)またはCC-87(パソコン側D-sub25ピン)

VM-53 / VM-53Aの場合、本体のメニュー3 / 5でシリアル通信に関する設定が必要です。

The screenshot shows the menu screen for VM-53 / VM-53A. The screen displays the following settings:

<I/O>	Menu3/5
LCD Contrast	*****--
Serial	On
Baud Rate	19200
Meas. Print	Off
Index	1

Annotations:

- Baud Rateの設定は、本ソフトのメニューの環境設定と同じにする
- Indexは1にする

準 備

VM-53PA1のインストール

VM-53PA1はCD-ROMが1枚です。下記手順に従ってインストールを行ってください。

ノート
バージョンアップの場合は、必ず旧バージョンをアンインストールしてからインストールしてください。

VM-53PA1をパソコンにインストールします。

1. OS を立ち上げます。
2. 本ソフトウェアの CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。
3. 「コントロールパネル」の中の「アプリケーションの追加と削除」でセットアップを行います。

CD-ROMの中のセットアッププログラムを実行してください。

なお、セットアッププログラムは各 OS 毎に異なります。

CD-ROM内のフォルダに対応 OS 名が記述されているので、任意のフォルダを選択してください。

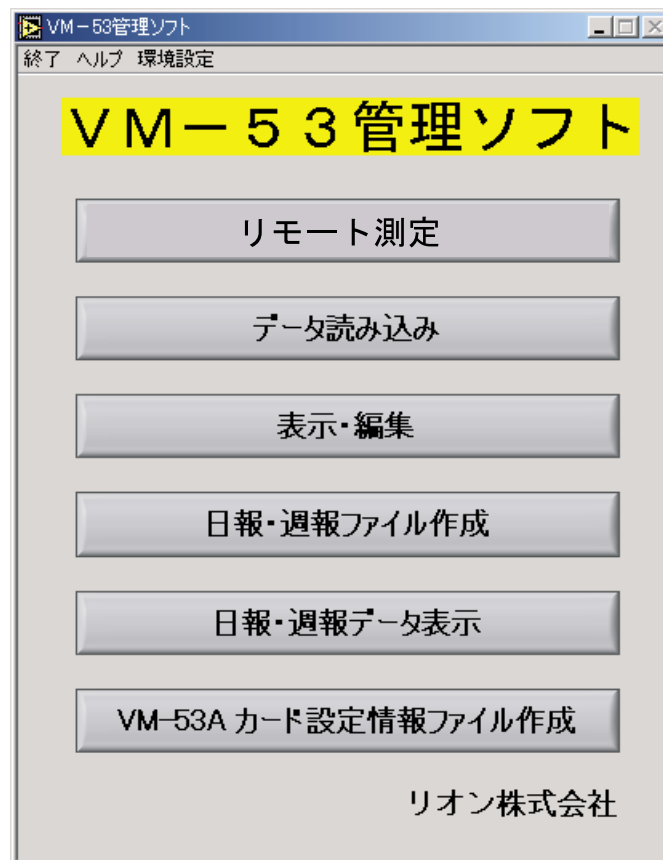
VM-53PA1 のアンインストール

インストールしたVM-53PA1をアンインストールする場合は「コントロールパネル」の中の「アプリケーションの追加と削除」で行ってください。

メニュー画面

本ソフトを起動すると下図のメニュー画面が表示されます。

本ソフトの機能はおもに、リモート測定、データ読み込み、表示・編集、日報・週報ファイル作成、日報・週報データ表示、VM-53Aカード設定情報ファイル作成の6機能に分かれます。それぞれ、メニュー上で指定の項目をクリックして機能を選択します。また、メニュー画面において、ヘルプ表示、環境設定を行なうことができます。



ノート

本ソフトウェアを起動中は他のソフトウェアを起動させないでください。

特にシリアル通信中は、通信エラーとなることがあります。

終了

本ソフトウェアを終了します。

ヘルプ

ヘルプ画面またはバージョン画面が表示されます。

ヘルプ画面：

個々の詳しい操作説明が記載されたヘルプファイルを画面上で閲覧することができます。なお、閲覧にはPDFファイルを開覧可能なアプリケーションが必要です。

バージョン画面：

本ソフトのバージョンが確認できます。



環境設定

通信ポートと通信速度の設定を行います。通信速度の設定は VM-53 / VM-53A の時のみ有効です。VM-52 / VM-52A の時は9600 bps 固定です。



[リモート測定]

パソコン上で振動レベル計の設定を行ない、測定を行ないます。

手動測定、自動測定が選択でき、自動測定の場合はインターバルを使用して、最大 200 時間の連続測定が可能です。

測定結果は CSV 形式のファイルで保存できます。

振動レベル計とパソコンはシリアル通信ケーブルで接続します。

対象機種: VM-53、VM-53A、VM-52、VM-52A

[データ読み込み]

振動レベル計でストアした測定データの取り込みを行ないます。

取り込んだ測定データは、拡張子 RV1 のファイルとして任意のフォルダに登録されます。

VM-53: 本体内部メモリーのマニュアルストア、Auto1 ストア、Auto2 ストアデータの3種類が読み込み可能です。読み込みはシリアル通信でおこないます。

VM-53A: CFカードまたは本体内部メモリーに保存された、マニュアルストア、Auto1 ストア、Auto2 ストアデータの3種類が読み込み可能です。

CFカードの場合は、パソコン上の PCMCIA カードスロットもしくはコンパクトフラッシュカードリーダーで読み込みます。

本体内部メモリーについては、シリアル通信でおこないます。

VM-52A: VM-52A のメモリーカードに保存された測定データが読み込み可能です。

読み込みはシリアル通信で行ないます。

VM-52 管理ソフトデータ:

VM-52 / 52A 管理ソフト VM-52PB1 で読み込んだ VM-52A のメモリーカードデータファイルが読み込み可能です。

[表示・編集]

データ読み込みで取り込んだ測定データを横軸時間、縦軸レベルとして表示し、任意区間の演算値算出や無効データ/有効データの設定を行なうことができます。

VM-53: Auto1 / Auto2 ストアデータが表示・編集可能です。

VM-53A: Auto1 / Auto2 ストアデータが表示・編集可能です。

VM-52A: メモリーカードデータが表示・編集可能です。

VM-52PB1 データ:

VM-52PB1で作成したMEMファイルを表示・編集可能です。

[日報・週報ファイル作成]

日報・週報データ表示に用いるファイルを作成します。

データ読み込みで登録された拡張子RV1ファイルから、日報・週報ファイルを作成します。

[日報・週報データ表示]

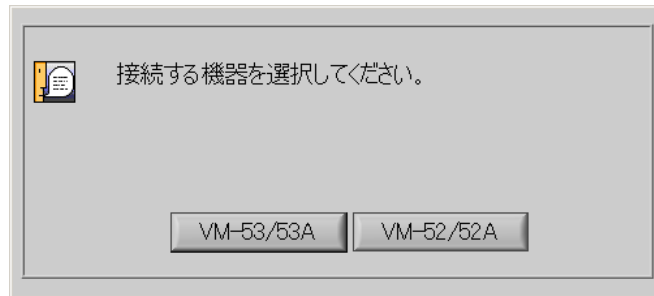
作成した日報、週報を表示することができます。日報・週報は基準時間帯別もしくは1時間毎のデータに集計して表示可能です。また、テキストファイルの作成もできます。

[VM-53A カード設定情報ファイル作成]

VM-53Aの設定情報が記録されたCFカードの設定情報を表示、または設定情報を変更して新たなカード設定情報ファイルを作成することができます。

リモート測定

パソコン上で振動レベル計の設定を行ない、測定を行ないます。
シリアル通信ケーブルで、パソコンと振動レベル計を接続します。
メニュー画面で「リモート測定」を選択すると、下図が表示されるので、接続機器を選択します。



接続機器選択メッセージ画面

接続機器を選択すると、シリアル通信が開始されリモート測定画面が開きます。
その際、通信ポートや通信速度の設定ミス、通信ケーブルの誤接続等が発生した場合には、通信エラー画面が開きます。
その場合は、設定等を確認してください。



通信エラー画面



リモート測定画面

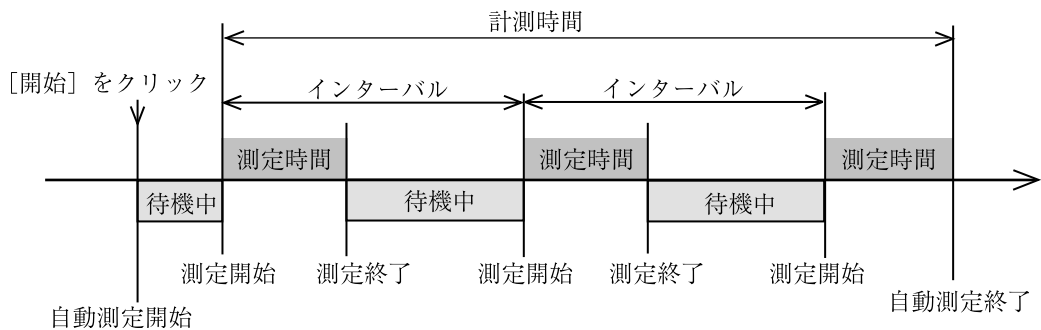
リモート測定では、レベルレンジ、特性、測定時間を設定し、手動測定または自動測定を行なうことができます。測定した演算結果データは、CSVファイルとして任意のフォルダに保存することが可能です。

- 手動測定： クリックした時点から、1回の演算測定をおこないます。
レベルレンジ、特性、測定時間を設定しておきます。測定方法を手動測定に設定し、[開始]をクリックして演算測定を開始します。測定中は状態表示部に「手動測定中」が点滅表示されます。演算測定の終了は、設定した測定時間が経過した時、または[中止]をクリックした時となります。
測定終了後、測定結果が表示されます。測定結果はCSV形式ファイルで保存することができます。
測定の途中で[中止]をクリックした場合は、その時点までの測定結果が表示されます。

[開始] をクリック



自動測定： 測定開始日時分から演算測定が開始します。設定した測定時間の演算をインターバル間隔毎に、計測時間分演算測定を行ないます。レベルレンジ、特性、測定時間を設定しておきます。測定方法を自動測定に設定し、測定開始日時分、計測時間、インターバルを設定して「開始」をクリックすると、自動測定動作が開始され自動測定待機中となります。測定開始時刻になると演算測定が開始され、画面上で「自動測定中」が点滅表示されます。測定終了は、計測時間経過後または「中止」をクリックした時となります。演算結果表示は、1回の演算終了毎に更新されます。測定結果はCSV形式ファイルで保存することができます。



各ボックスの説明

測定方法

手動測定か自動測定の選択をします。

Port

設定されているポートの番号を表示します。ポートの設定はメニューの環境設定で行ないます。

現在日時表示

現在日時を表示します。

リモートの測定はパソコンの時計を利用しているため、測定前に日時を確認してください。

状態表示

現在の状態を表示します。

- 「通信中」表示： シリアル通信で設定情報を送受信している時に表示されます。
- 「手動測定中」点滅表示： 手動測定で測定中に点滅表示されます。
- 「手動測定終了」表示： 手動測定が終了すると表示されます。設定変更があったときには表示が消えます。
- 「自動測定待機中」点滅表示： 自動測定が開始され、測定の待機中に点滅表示されます。
- 「自動測定中」点滅表示： 自動測定が開始され、測定中に点滅表示されます。
- 「自動測定中止」表示： 自動測定が中止されたときに表示されます。
- 「自動測定終了」表示： 自動測定が終了すると表示されます。設定変更があったときには表示が消えます。

自動測定設定 測定開始

自動測定のときの測定開始日時を設定します。

正時を基準にして測定する場合、分の設定を00にして測定開始日時を設定してください。

手動測定の時は設定できません。

自動測定設定 計測時間

自動測定のときの計測時間を設定します。

測定開始日時を基準に、計測時間が経過すると、自動測定を終了します。

計測時間は1時間刻みで最大200時間まで設定できます。

手動測定の時は設定できません。

インターバル

自動測定の時に、インターバルを設定します。

インターバルは5分、10分、15分、30分、1時間から選択できます。

インターバルの設定時間は、測定時間の設定時間よりも長い設定時間にしてください。

手動測定の時は設定できません。

測定場所

文字(半角 / 全角)が入力できます。

半角24文字、全角で12文字まで表示可能です。

測定者

文字(半角 / 全角)が入力できます。
半角 12 文字、全角で 6 文字まで表示可能です。

備考

文字(半角 / 全角)が入力できます。
半角 24 文字、全角で 12 文字まで表示可能です。

レベルレンジ

レベルレンジの設定を行ないます。
レベルレンジ変更後、[設定]ボタンをクリックしてレベルレンジの設定変更をおこないます。
変更がある場合、[設定]ボタンを押さないと[開始]ボタンは押せません。

特性

L_v / L_{va} の設定を行ないます。
 L_v / L_{va} の変更後、[設定]ボタンをクリックして設定変更をおこないます。
変更後がある場合、[設定]ボタンを押さないと[開始]ボタンは押せません。

測定時間

測定時間の設定を行ないます。
設定変更後、[設定]ボタンをクリックして測定時間の設定変更をおこないます。
変更がある場合、[設定]ボタンを押さないと[開始]ボタンは押せません。
測定時間は 500 秒、10 秒、1 分、5 分、10 分、15 分、1 時間、8 時間、24 時間から選択できます。
測定時間の設定は、インターバルの設定時間よりも短い設定時間にしてください。

測定経過時間

測定の経過時間が表示されます。

測定開始日時

測定の開始日時を表示します。
測定開始後に表示されます。

測定終了日時

測定の終了日時を表示します。
測定終了後に表示されます。

測定結果

3方向の測定結果が表示されます。

自動測定の場合、1回の測定が終了すると表示が更新され、最新の測定結果が表示されます。

測定結果は、 L_5 、 L_{10} 、 L_{50} 、 L_{90} 、 L_{95} 、パワー平均、区間内最大値の7種類が表示されます。

ノート
VM-52 / VM-52Aの場合、アンダー情報は付きません。

設定

レベルレンジ、特性、測定時間に変更があった場合に、設定ボタンをクリックして設定変更をおこないます。

開始

手動測定または自動測定を開始します。

中止

手動測定または自動測定を途中で中止するときにクリックします。

保存

取り込んだ測定結果をファイル保存する際にクリックします。

閉じる

オンライン測定を閉じて、メニューに戻ります。

ノート
リモート測定の際はパソコンのコントロールパネルで電源の管理を確認し、システムおよびハードディスクなどの電源が常にONになるように設定してください。

データ読み込み

振動レベル計でストアした測定データの読み込みを行いません。

読み込んだストアデータは、ファイルとしてパソコン上の任意のフォルダに登録され、登録されたファイルは表示・編集に用いられます。

対象機種及び対象データ、読み込み方法

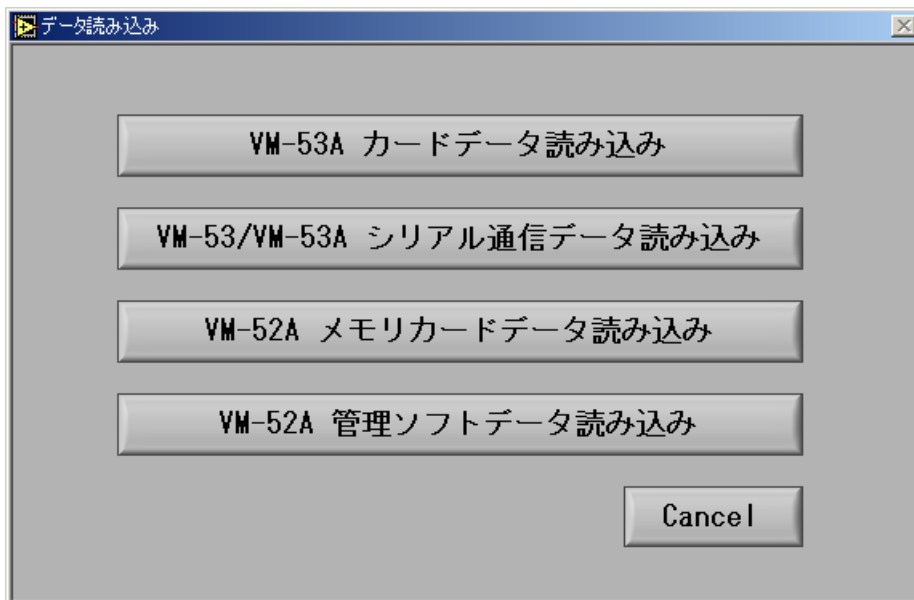
VM-53: マニュアルストア、オートストア1、オートストア2
読み込みはシリアル通信

VM-53A: マニュアルストア、オートストア1、オートストア2

VM-53A読込方法	マニュアルストア1	オートストア1	オートストア2
CFカード（PC上のカードスロットまたはカードリーダーから読み込む）	—	○	○
シリアル通信	○ （内部メモリーのみ）	○ （内部メモリーのみ）	○ （内部メモリーのみ）

VM-52A: メモリーカードのストアデータ
読み込みはシリアル通信
VM-52 / 52A 管理ソフト VM-52PB1 で作成された VM-52A
のメモリーカードデータファイル
登録先のフォルダから読み込み

メニュー画面で「データ読み込み」を選択すると、下図の画面が表示されます。ここで読み込むデータの種類を選択します。



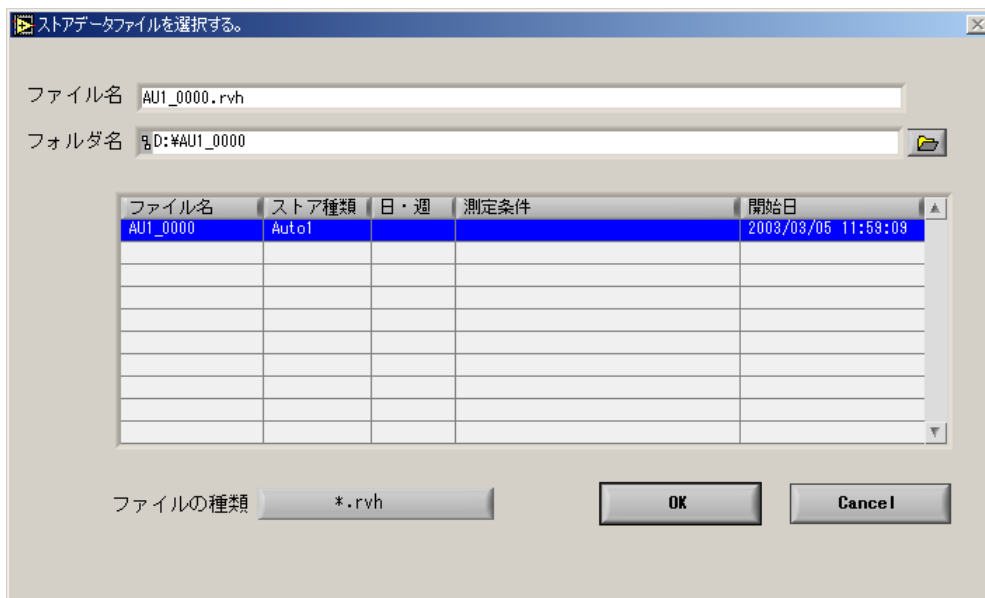
データ読み込み選択画面

VM-53Aカードデータ読み込み

VM-53AでCFカードに記録したストアデータをパソコン上のカードスロットもしくはカードリーダーから読み込みを行ないます。

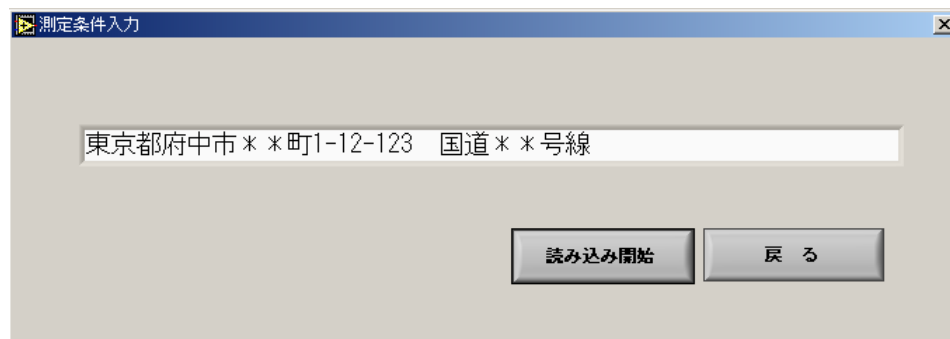
ノート
VM-53A でストアした CF カードが対象です。

読み込むストアデータのフォルダ名とファイル名を指定して[OK]をクリックします。(下図の例では、フォルダ名をDドライブのAU1_0000に指定し、AU1_0000.rvh ファイルを選択しています。)



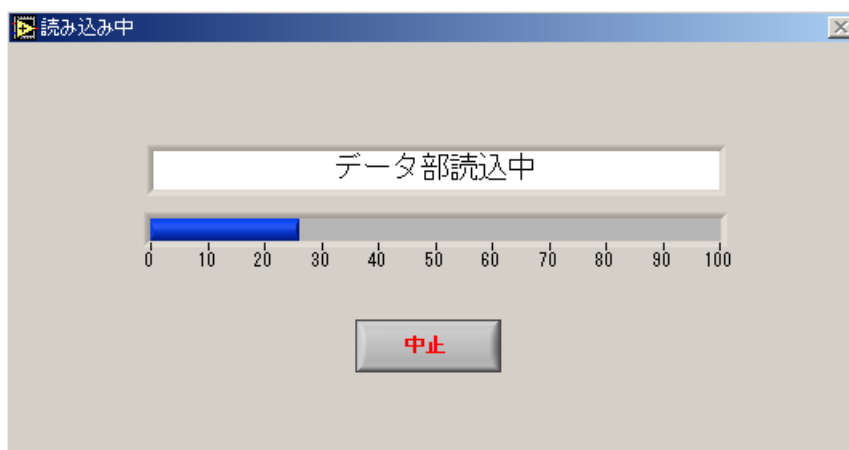
ストアデータファイル選択画面

測定条件入力画面が表示されるので、必要に応じて測定場所などを任意に入力します。半角 64 文字、全角 32 文字の入力が可能です。



測定条件入力画面

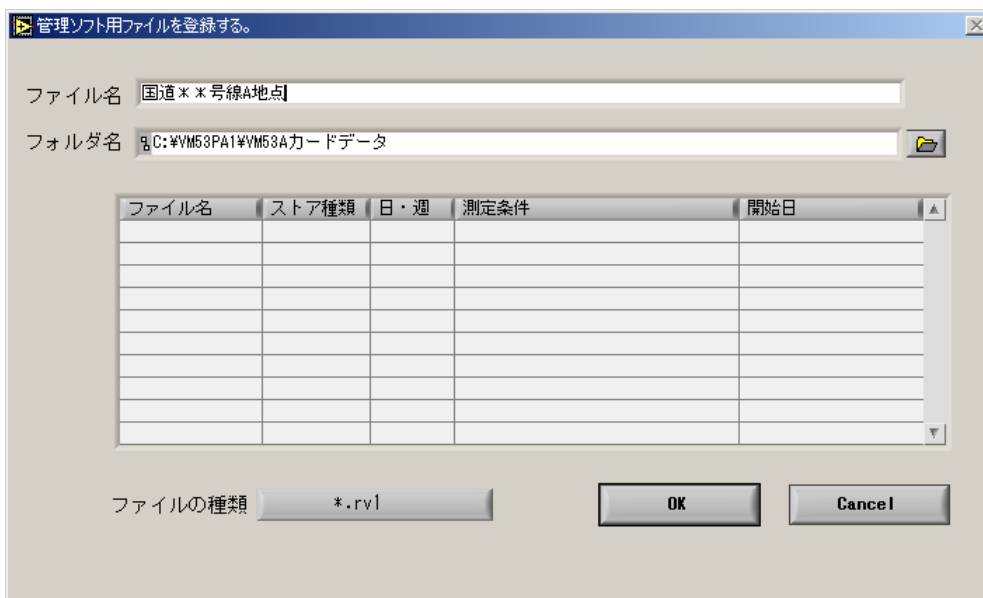
データ読み込みを開始すると、下図が表示されます。



読み込み中画面

読み込み終了後、本管理ソフトの表示・編集機能で使用する管理ソフト用ファイルとして登録します。

登録先のフォルダ名、ファイル名を入力し、[OK]をクリックすると、管理ソフト用ファイルの登録が完了します。



管理ソフト用ファイル登録画面

VM-53 / 53Aシリアル通信データ読み込み

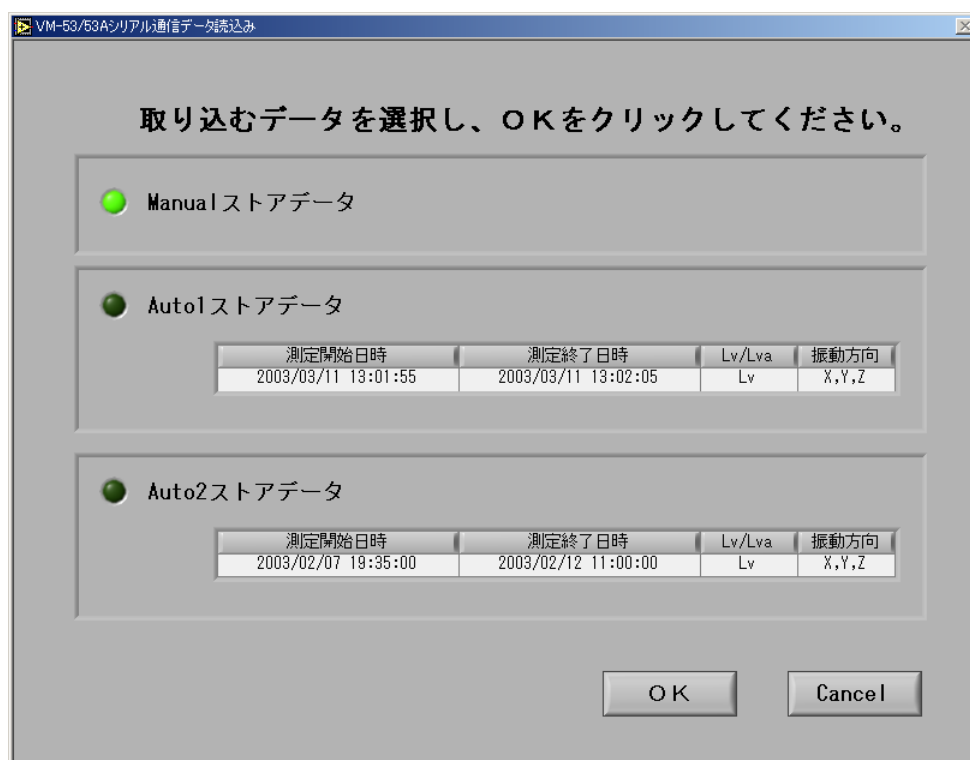
VM-53 / VM-53Aの内部メモリーに記録されたストアデータをシリアル通信を介して読み込みます。

ノート

VM-53 / VM-53Aの内部メモリーのストアデータが対象です。

VM-53 または VM-53A をシリアル通信ケーブルで PC と接続し、[VM-53 / 53A シリアル通信データ読み込み] をクリックすると、下図の画面が表示されます。

読み込むストアデータを選択して、[OK] をクリックします。



VM-53 / 53Aシリアル通信データ選択画面

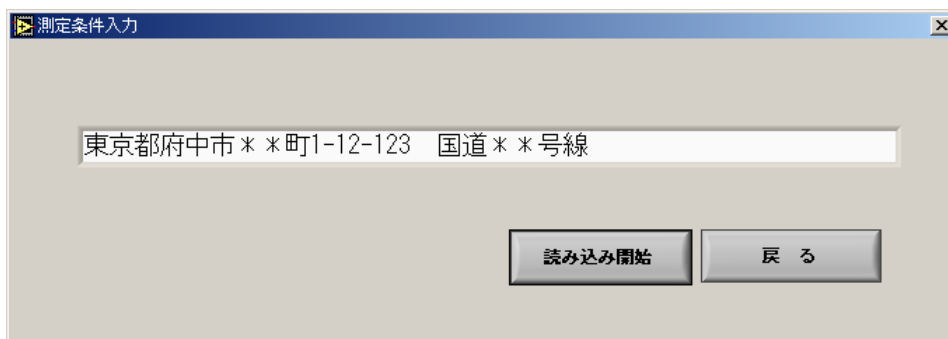
ノート

通信エラーが発生する場合には、環境設定やケーブル接続、VM-53 / VM-53A本体のシリアル通信設定を確認してください。

データ数が多い場合、データ取り込みに数十分かかる場合があります。

データ取り込み中はほかのソフトウェアを起動しないでください。

測定条件入力画面が表示されます。(ただし、マニュアルストアを除く)
ここで測定場所等を半角 64 文字、全角 32 文字の範囲で任意に入力します。



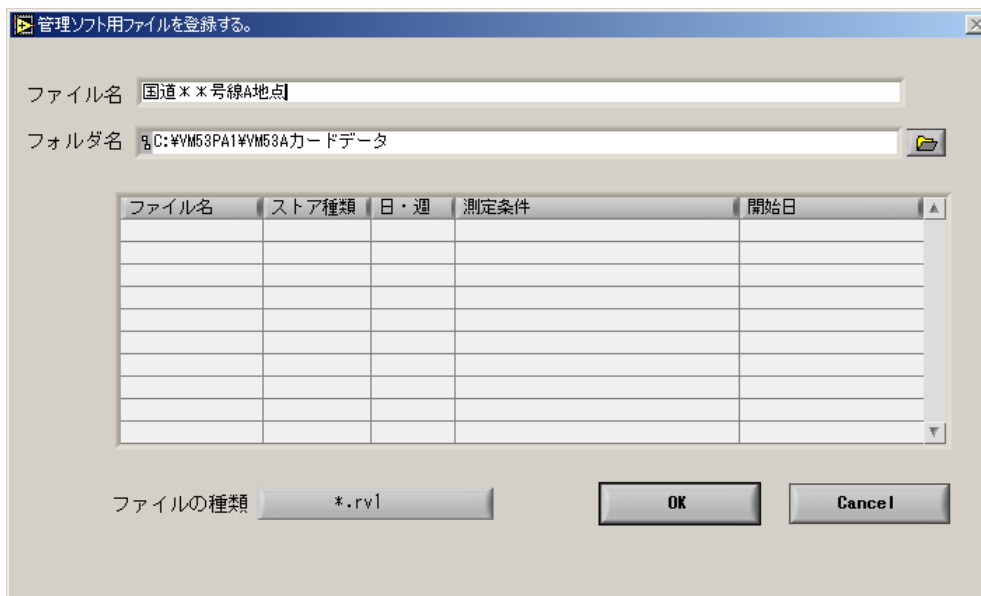
測定条件入力

東京都府中市 * * 町1-12-123 国道 * * 号線

読み込み開始 戻る

測定条件入力画面

読み込みを開始すると管理ソフト用ファイル登録画面が表示されるので、登録先のフォルダ名、ファイル名を入力します。[OK] をクリックし、管理ソフト用ファイルの登録を完了します。



管理ソフト用ファイルを登録する。

ファイル名 国道 * * 号線A地点

フォルダ名 C:¥VM53PA1¥VM53Aカードデータ

ファイル名	ストア種類	日・週	測定条件	開始日

ファイルの種類 *.rvl

OK Cancel

管理ソフト用ファイル登録画面

マニュアルストアデータ形式

Auto1、Auto2ストアデータは表示編集用のファイルとして保存されますが、マニュアルストアデータは、CSV形式で作成されますので、市販の表計算ソフト(エクセル等)で閲覧することができます。

Address,	Inst/M-	Freq-	Time-weight,	Filter,	Center/Hi-	Low Pass	Store time,	X_Range,	X,
1,	Inst,	Lv,	0.63s,	,	,	,	2003/1/ 1, 8:30,	70,	42.3,
2,	Inst,	Lv,	0.63s,	,	,	,	2003/1/ 1, 9:10,	70,	48.7,
3,	Inst,	Lva,	0.63s,	,	,	,	2003/1/ 1, 9:50,	110,	43.2,
4,	Inst,	Lv,	0.63s,	,	,	,	2003/1/10,10:05,	70,	65.8,
5,	Inst,	Lv,	0.63s,	,	,	,	2003/1/10,10:30,	80,	56.2,
6,	Inst,	Lv,	0.63s,	,	,	,	2003/1/11, 8:30,	70,	0,
7,	Inst,	Lva,	0.63s,	,	,	,	2003/1/11, 8:42,	100,	55.8,
8,	Inst,	Lva,	0.63s,	,	,	,	2003/1/12,11:05,	70,	46.7,

←→ | ← 振動レベルに関するストア情報
アドレス

Over,	Under,	Y_Range,	Y,	Over,	Under,	Z_Range,	Z,	Over,	Under,
,	,	70,	38.9,	,	,	70,	45.7,	,	,
,	,	80,	44.8,	,	,	120,	55.1,	,	Under,
,	Under,	70,	55.5,	,	,	70,	53.5,	,	,
Over,	,	70,	56.7,	,	,	70,	54.9,	,	,
,	,	70,	62.2,	Over,	,	70,	57.8,	,	,
,	,	70,	45.1,	,	,	70,	58.3,	Over,	,
,	,	90,	51.1,	,	,	80,	3.3,	,	Under,
,	,	70,	47.3,	,	,	70,	48.6,	,	,

振動レベルに関するストア情報 →

Freq-	Time-weight,	Filter,	Center/Hi-	Low Pass	Beginning time,	Time setting,	Measur.
Lv,	0.63s,	,	,	,	2003/1/ 1, 0:00,	500sec,	0:00:00,
Lv,	0.63s,	,	,	,	2003/1/ 1, 9:00,	500sec,	0:08:20,
Lva,	0.63s,	,	,	,	2003/1/ 1, 9:30,	500sec,	0:08:20,
Lv,	0.63s,	,	,	,	2003/1/ 1, 0:00,	1min,	0:00:00,
Lv,	0.63s,	,	,	,	2003/1/ 1, 0:00,	1hour,	0:00:00,
Lv,	0.63s,	,	,	,	2003/1/11, 8:00,	10min,	0:10:00,
Lva,	0.63s,	,	,	,	2003/1/ 1, 0:00,	1min,	0:00:00,
Lva,	0.63s,	,	,	,	2003/1/12,10:00,	Manual,	0:01:40,

← 演算値に関するストア情報

X_range,	X_Leq,	X_Lmax,	X_Lmin,	X_L5,	X_L10,	X_L50,	X_L90,	X_L95,
100,	0,	0,	0,	0,	0,	0,	0,	0,
70,	48.5,	55.9,	36.9,	53.1,	50.5,	46.3,	40.3,	39.5,
70,	47.3,	55.4,	37.8,	52.9,	49.6,	45.5,	41.1,	39.8,
90,	0,	0,	0,	0,	0,	0,	0,	0,
70,	0,	0,	0,	0,	0,	0,	0,	0,
70,	0,	0,	0,	0,	0,	0,	0,	0,
70,	0,	0,	0,	0,	0,	0,	0,	0,
80,	64.2,	72.1,	52,	69.5,	67.2,	62.1,	54.6,	52.9,

演算値に関するストア情報

Over,	Under,	Y_range,	Y_Leq,	Y_Lmax,	Y_Lmin,	Y_L5,	Y_L10,	Y_L50,
,	,	90,	0,	0,	0,	0,	0,	0,
,	,	70,	46.1,	54.8,	35.7,	51.1,	49.2,	45.5,
,	,	70,	47.2,	52.5,	35.9,	50.8,	48.3,	45.1,
,	,	90,	0,	0,	0,	0,	0,	0,
,	,	70,	0,	0,	0,	0,	0,	0,
,	,	70,	0,	0,	0,	0,	0,	0,
,	,	70,	0,	0,	0,	0,	0,	0,
Over,	,	100,	65.8,	70.9,	54.5,	67.5,	65.9,	64.1,

演算値に関するストア情報

Y_L90,	Y_L95,	Over,	Under,	Z_range,	Z_Leq,	Z_Lmax,	Z_Lmin,	Z_L5,
0,	0,	,	,	100,	0,	0,	0,	0,
41.1,	38.7,	,	,	70,	50.3,	59.6,	42.9,	57.6,
42.8,	37.9,	,	,	70,	52.2,	57.8,	41,	56.8,
0,	0,	,	,	80,	0,	0,	0,	0,
0,	0,	,	,	90,	0,	0,	0,	0,
0,	0,	,	,	70,	46.3,	49.8,	28.7,	47,
0,	0,	,	,	70,	0,	0,	0,	0,
58.2,	55.6,	,	,	100,	67.8,	71.8,	59.8,	69.8,

演算値に関するストア情報

Z_L10,	Z_L50,	Z_L90,	Z_L95,	Over,	Under,	Pause
0,	0,	0,	0,	,	,	
55.5,	49.5,	45.3,	44.1,	,	,	
54.2,	50.8,	45.8,	43.2,	,	,	Pause
0,	0,	0,	0,	,	,	
0,	0,	0,	0,	,	,	
46.8,	45,	38.1,	30.5,	,	,	
0,	0,	0,	0,	,	,	
69,	66.2,	62.3,	60.5,	,	,	

演算値に関するストア情報

ノート

1チャンネル測定で、測定データのないチャンネルのデータ部分には、0が入ります。

VM-52Aメモリーカードデータ読み込み

VM-52Aのメモリーカードに記録されたストアデータを、VM-52A本体からシリアル通信を介して読み込みます。

ノート

VM-52AのメモリーカードデータはPC上のカードスロットやカードリーダーで読み込むことはできません。

VM-52Aをシリアル通信ケーブルCC-87E / CC-87でパソコンと接続し、[VM-52Aメモリーカードデータ読み込み]をクリックすると、下図の画面が表示されます。

読み込むストアデータを選択して、[保存]をクリックします。

測定条件入力を行ないたいときは、[測定条件入力]をクリックし、測定場所などを任意に入力します。半角 64 文字、全角 32 文字の入力が可能です。

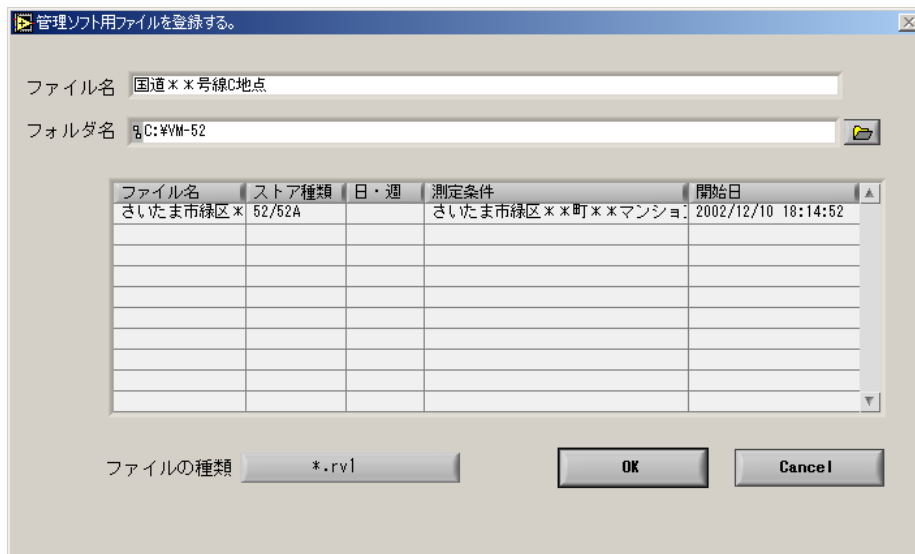


VM-52Aシリアル通信メモリーカードデータ読み込み選択画面

ノート

通信エラーが生じる場合には、環境設定やケーブル接続、設定等を確認してください。

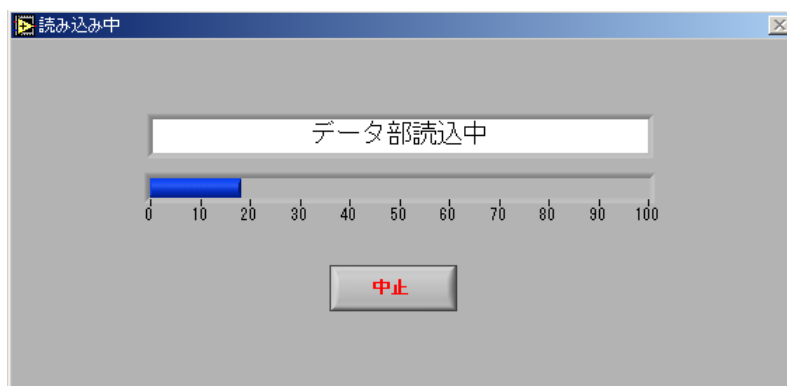
選択したストアデータを、管理用ソフトに登録する画面が開きますので、登録先のフォルダ名、ファイル名を入力して[OK]をクリックします。



管理ソフト用ファイル登録

データの読み込み中は下図の画面が表示されます。

読み込みが終了すると、指定のファイルが作成され、VM-52Aメモリーカードデータ読み込み作業が完了します。



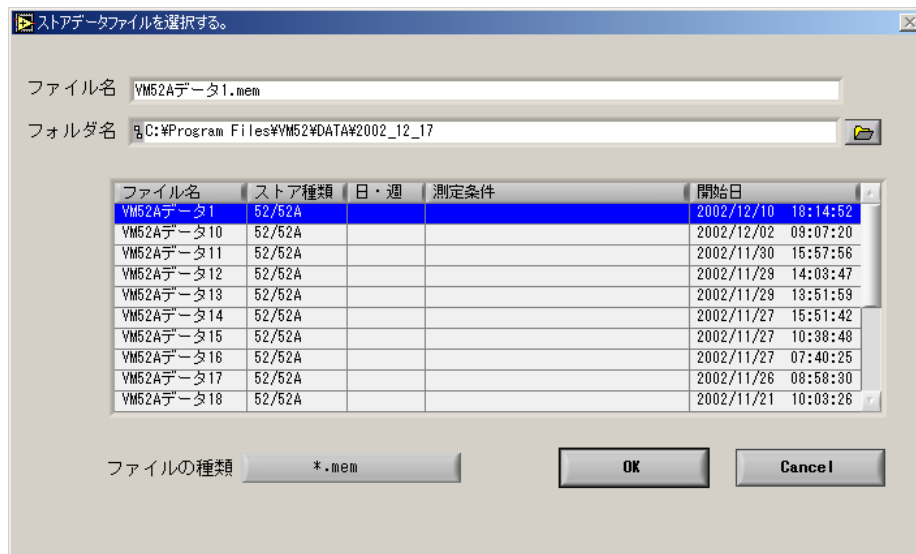
読み込み中画面

VM-52A 管理ソフトデータ読み込み

VM-52 / 52A 管理ソフト VM-52PB1 で作成した VM-52A のメモリーカードデータファイル(拡張子MEM)を読み込み、本ソフトの表示・編集機能に対応したファイルを作成します。

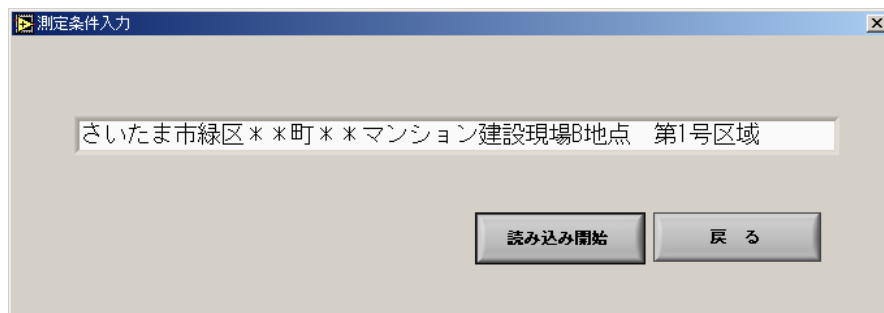
[VM-52A 管理ソフトデータ読み込み]をクリックすると、ストアデータファイル選択画面が開きます。

読み込むストアデータ(MEMファイル)を選択して、[OK]をクリックします。



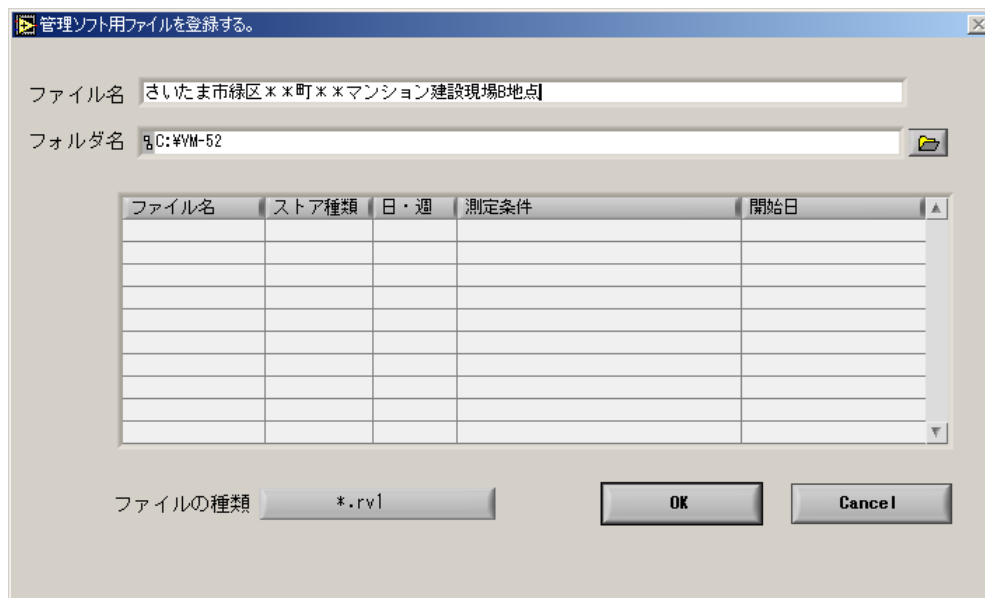
ストアデータファイル選択画面

測定条件入力画面が表示されますので、測定場所等を任意に半角 64 文字、全角 32 文字の範囲で入力します。



測定条件入力画面

[読み込み開始]をクリックすると管理ソフト用ファイル登録画面が表示されるので指定のフォルダ、ファイル名を入力し[OK]をクリックします。
登録が終了すると、VM-52A管理ソフトデータ読み込み作業が完了します。

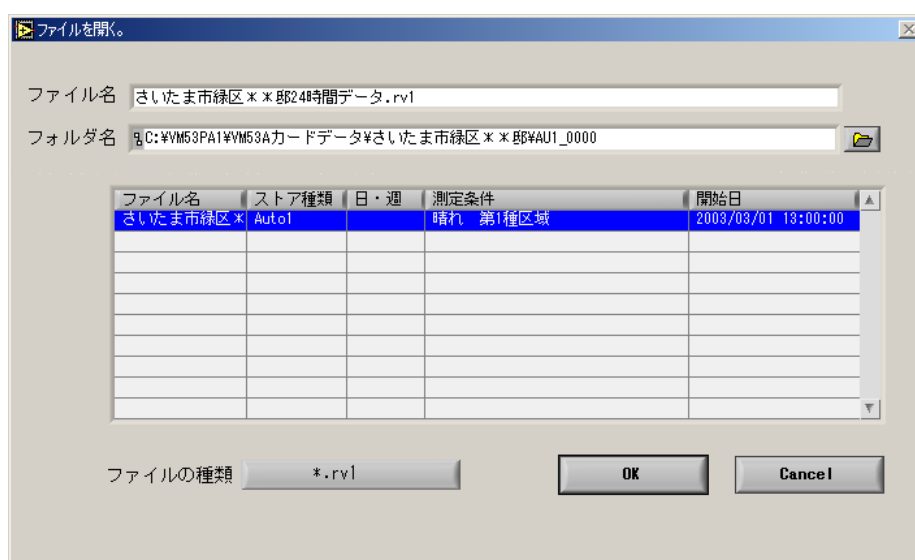


管理ソフト用ファイル登録画面

表示・編集

データ読み込みでパソコンに読み込んだストアデータの表示・編集を行いません。
また、表示画面の印刷(ハードコピー)やCSVファイルの作成を行なうことができます。

メニュー画面で[表示・編集]をクリックすると、下図の画面が開きます。
フォルダ名、ファイル名を入力し、表示・編集をおこなうファイルを選択し[OK]をクリックします。



表示・編集用ファイルを開く

選択したファイルデータを表示・編集画面に表示するまで処理中画面が表示されます。
データ量によって、処理中の表示時間が変わります。

処理中です。
しばらくお待ち下さい。

処理中画面

表示・編集画面では以下の作業をおこなうことができます。

表示機能

- ・ ストアデータのグラフ画面表示

VM-53 / VM-53A Auto1ストアデータの場合、3チャンネルまでの同時表示が可能です。

VM-53 / VM-53A Auto2ストアデータの場合、8種類の演算値を表示できます。

(L_{eq} 、 L_{max} 、 L_{min} 、 L_5 、 L_{10} 、 L_{50} 、 L_{90} 、 L_{95})

1チャンネルの場合は最大8種類までの演算値の同時表示が可能です。

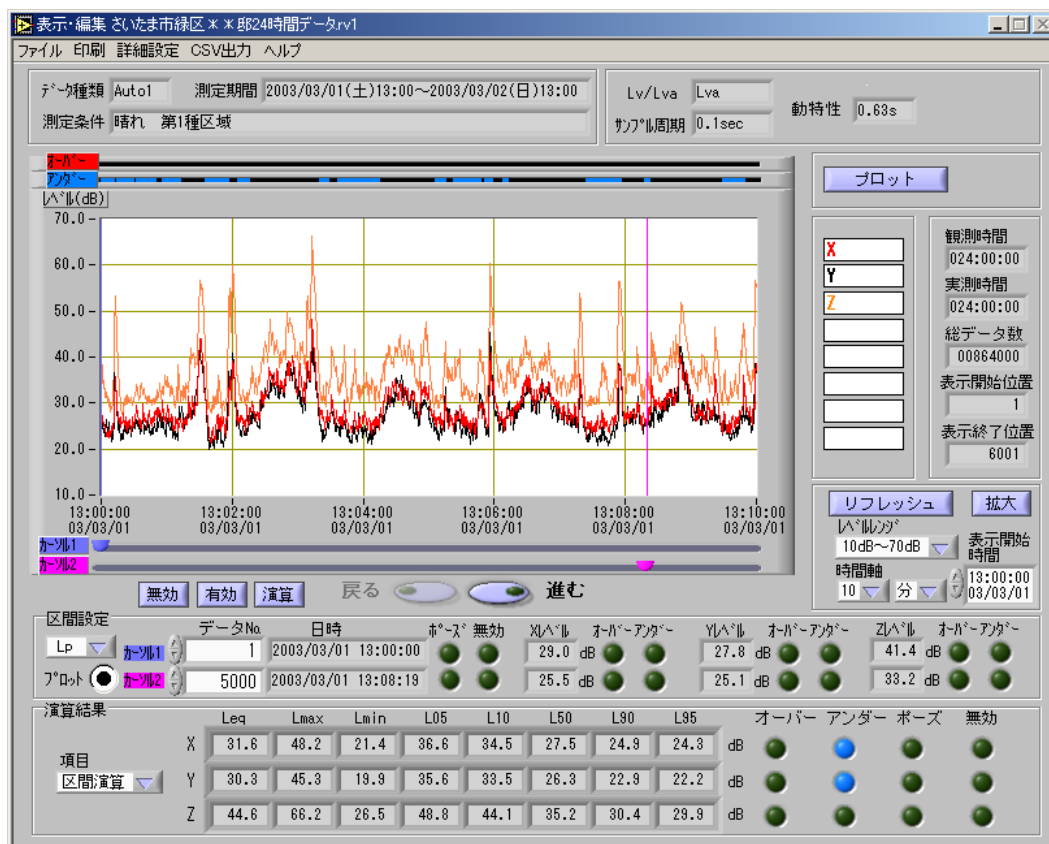
2チャンネル以上の場合は、選択する2種類までの演算値の同時表示が可能です。

VM-52Aストアデータの場合、1チャンネルの瞬時値が表示されます。

- ・ 縦軸のレベル範囲、横軸の時間軸を変えてグラフ表示できます。
- ・ グラフ表示について、拡大表示ができます。
- ・ カーソルで指定した部分の測定値が表示できます。
- ・ 測定上の設定情報などが表示されます。
- ・ オーバー、アンダー、ポーズ情報が表示されます。

編集機能

- ・ 任意区間での演算結果を算出可能です。
- ・ 指定した区間のデータを無効として、任意区間の演算結果を算出することができます。



表示・編集画面

- ファイル： 開く、保存、閉じるが選択できます。
 開く： 別のファイルを開く時に選択します。
 保存： 編集したデータを保存するときに選択します。
 閉じる： 表示・編集機能を終了するときに押します。
- 印刷： 画面のハードコピーを行いません。
- 詳細設定： X軸グリッドのあり/なしの設定、描画速度の設定を行なうことができます。

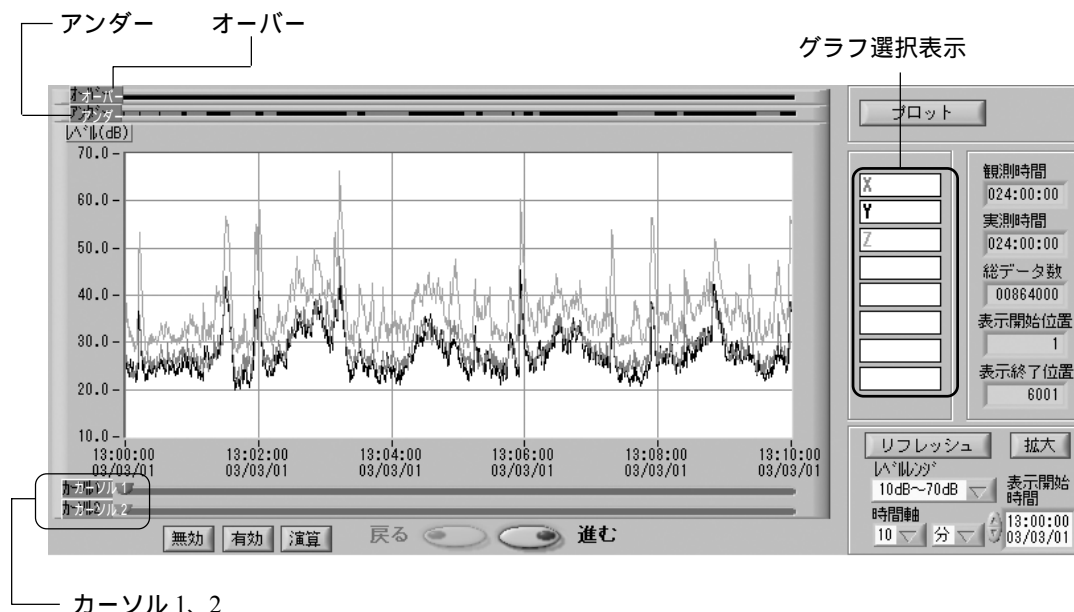
ノート

総データ数が10万データを超える場合は、描画速度を「高」に設定してください。総データ数が多く、パソコンのメモリーが小さい場合、読み込みエラーを起こす場合があります。

- CSV出力： 測定データをCSV形式ファイルで保存することができます。
- ヘルプ： ヘルプファイルを参照できます。

データ種類	Auto1	測定期間	2003/03/01(土)13:00~2003/03/02(日)13:00	Lv/Lva	Lva	動特性	0.63s
測定条件	晴れ 第1種区域	サンプル周期	0.1sec				

- データ種類： 測定データのデータ種類が表示されます。
 VM-53 / VM-53A のときは Auto1 または Auto2 と表示
 VM-52A のときは VM-52A と表示
- 測定期間： 測定データの測定期間が表示されます。
- 測定条件： データ取り込みで登録時に入力した測定条件が表示されます。
- Lv/Lva： 測定データの Lv / Lva(周波数補正)が表示されます。
- サンプル周期： 測定データのサンプル周期が表示されます。
- 動特性： 0.63s が表示されます。



- オーバー： グラフ画面に対応した測定データのオーバーが赤で表示されます。
 2チャンネル以上のチャンネルをグラフ表示している場合、どれかのチャンネルにオーバーがあればオーバー表示されます。
- アンダー： グラフ画面に対応した測定データのアンダーが青で表示されます。
 2チャンネル以上のチャンネルをグラフ表示している場合、どれかのチャンネルにアンダーがあればアンダー表示されます。
- カーソル1、2： 指定の区間演算を行なう場合や、指定の区間データを無効にする場合に、区間を設定するカーソルとして使用します。

- [無効]: カーソル 1 と 2 で指定した区間を無効データとします。
無効処理により、任意区間を無効とした演算結果や日報・週報を作成することができます。
無効区間はグラフ上においてグレーで示されます。
- [有効]: 無効区間を有効に戻す時に使用します。
カーソル 1 と 2 で指定した区間が無効から有効に切り替わります。
- [演算]: カーソル 1 と 2 で指定した区間の演算を行いません。演算結果部に表示されます。
- [戻る] [進む]: グラフ画面におけるスクロールを行いません。
- [プロット]: グラフ画面に表示されるデータを選択します。
プロットをクリックし、プロット選択画面で表示データを選択します。



プロット選択画面

VM-53 / VM-53A の場合、任意のチャンネルが選択できます。また、2チャンネル、3チャンネルの同時表示も可能です。Auto2 ストアデータの場合、1方向データの場合は、演算値のすべてが選択表示できますが、2チャンネル以上を選択した場合には、2種類の演算値までが表示可能です。

グラフ選択表示:

表示されているグラフデータの種類が表示されます。

表示されるグラフデータの選択は、プロットで行ないます。

観測時間: Auto1、VM-52Aデータの場合

測定時間が表示されます。

Auto2データの場合

インターバル測定の場合、インターバルの時間が表示されます。

インターバル測定でない場合は、演算時間が表示されます。

実測時間： Auto1、VM-52Aデータの場合

測定時間が表示されます。

Auto2データの場合

測定データの実測時間が表示されます。

インターバル測定の場合、インターバルによる待機時間が除かれた実測時間となります。

総データ数： 測定データのデータ数が表示されます。

表示開始位置： 表示されている画面の開始位置(一番左の位置)にあたるデータ番号が表示されます。

表示終了位置： 表示されている画面の終了位置(一番右の位置)にあたるデータ番号が表示されます。

ノート

ポーズデータ(Auto1 ではマーカー)はグラフ画面上においてピンク色で表示されます。



[リフレッシュ]:

グラフ画面のレベルレンジまたは時間軸の変更後、リフレッシュをクリックします。

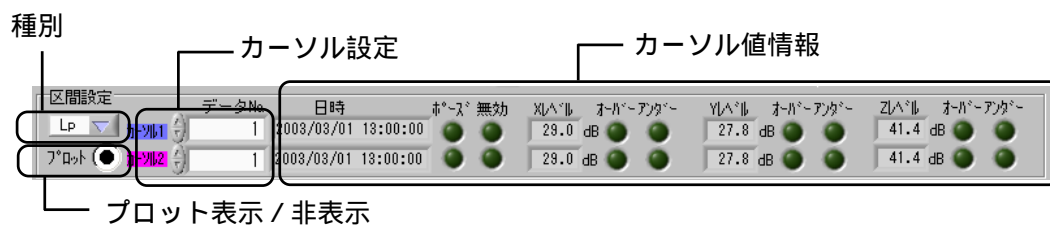
リフレッシュを行なうと、レベルレンジや時間軸の変更処理が行なわれます。

レベルレンジ： グラフ画面縦軸のレベルレンジ変更をおこないます。レベルレンジ設定変更後、リフレッシュをクリックします。

時間軸： グラフ画面横軸の時間軸変更を行ないます。レベルレンジ設定変更後、リフレッシュをクリックします。

[拡大]:

グラフ画面において任意部分を拡大して表示することができます。拡大をクリックすると、グラフ画面に表示している部分が拡大された別画面で表示されます。拡大画面上でさらに、任意部分を選択して拡大することもできます。



種類： カーソル値情報に表示される測定値の表示種別を選択します。Auto1ストアデータとVM-52Aの場合は、瞬時値 (L_p)のみです。Auto2ストアデータの場合は、 L_{eq} 、 L_{max} 、 L_{min} 、 L_5 、 L_{10} 、 L_{50} 、 L_{90} 、 L_{95} から選択できます。

カーソル設定： カーソル1、カーソル2 の設定を行ないます。データ No. に直接数値入力ができます。

カーソル値情報： カーソル1とカーソル2の種別で選択された測定値を示します。

プロット表示 / 非表示： カーソル情報の表示、非表示を制御します。

演算結果		Leq	Lmax	Lmin	L05	L10	L50	L90	L95	オーバー	アンダー	ポーズ	無効
項目	X	29.4	34.4	24.5	33.2	32.1	28.1	25.5	25.2	dB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	カーソル1	Y	32.0	35.9	28.9	34.9	34.4	31.4	30.0	29.7	dB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	Z	40.8	49.2	31.2	43.3	42.7	35.7	33.1	32.4	dB	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

項目： カーソル1、カーソル2、区間演算が選択でき、項目で選ばれた測定値が表示されます。3方向のデータである場合には、3方向の測定値が示されます。

日報・週報ファイル作成

日報・週報データ表示で扱うファイルを作成します。

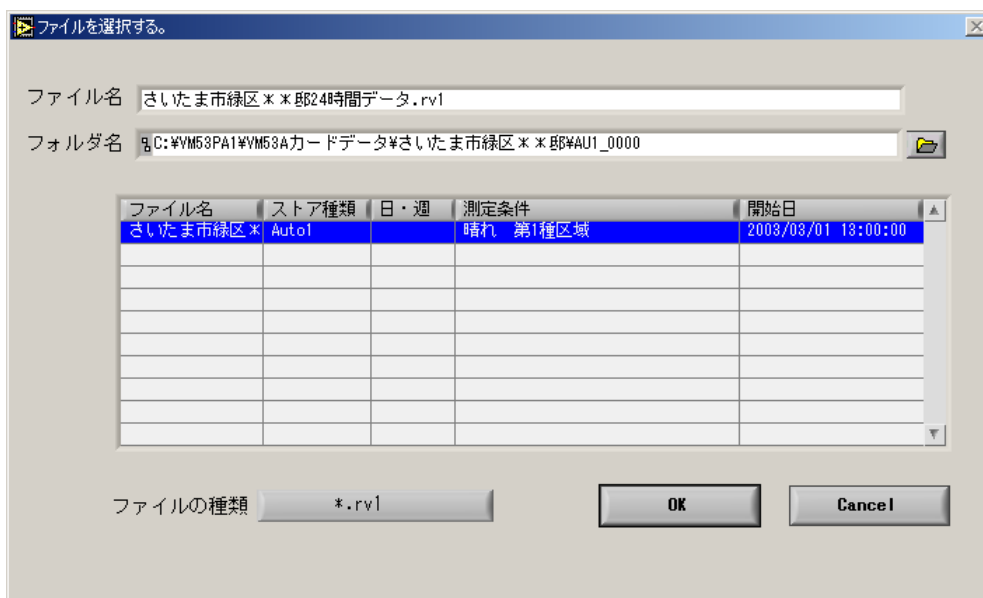
日報・週報ファイルは、データ読み込みで読み込んだファイル(拡張子RV1)から作成します。

ノート

日報・週報ファイルを作成しないと、日報・週報表示はできません。

メニュー画面で、[日報・週報ファイル作成] をクリックすると、ファイル選択画面が開きます。

フォルダ名、ファイル名を入力して[OK] をクリックします。

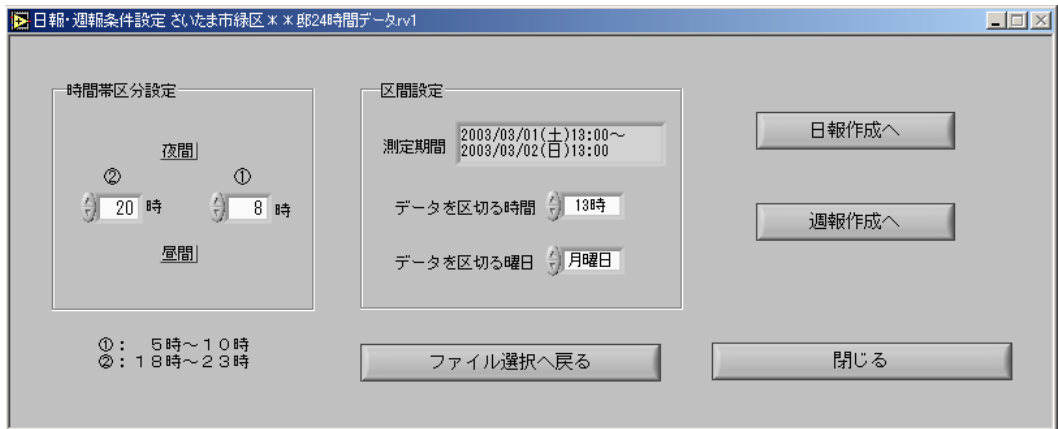


ファイル選択画面

日報・週報条件設定画面より時間区分の設定、データを区切る時間、曜日を入力して、日報作成または週報作成を行ないます。

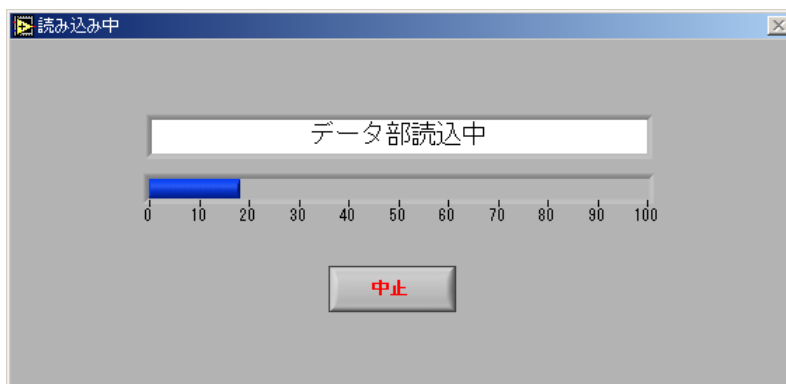
時間区分の設定は昼間と夜間の2分割で設定できます。

- ・ 昼間は5時、6時、7時、8時、9時、10時から選択、夜間は18時、19時、20時、21時、22時から選択し、設定します。
- ・ データを区切る時間は、日報、週報における日にちの区切り時間を設定します。
- ・ データを区切る曜日は、週報における週の区切りの曜日を設定します。
- ・ 日報作成の場合は、[日報作成へ]をクリックします。
- ・ 週報作成の場合は、[週報作成へ]をクリックします。



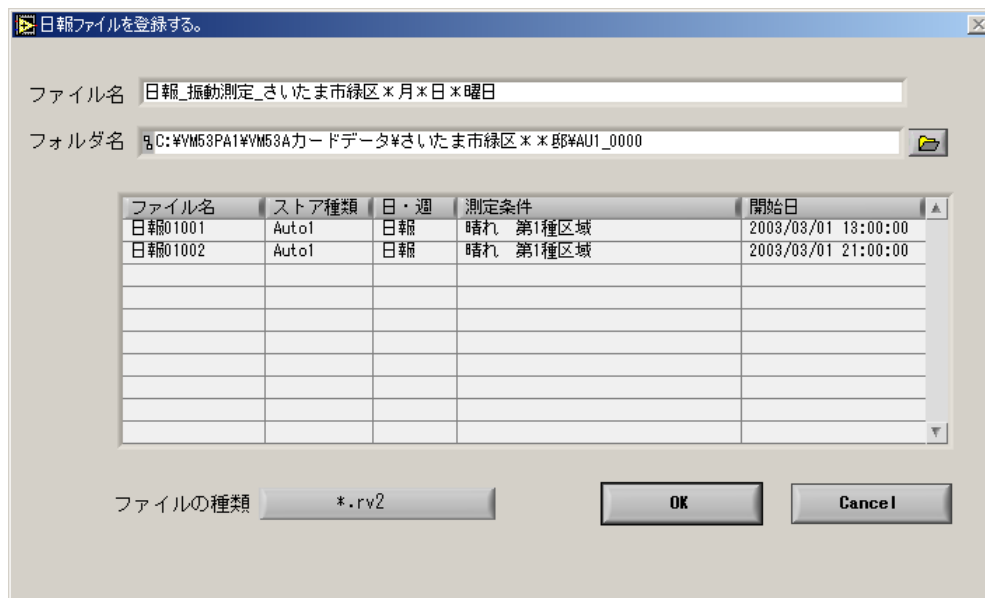
日報・週報条件設定画面

日報作成中または週報作成中は読み込み中画面が表示されます。



読み込み中画面

読み込みが終了すると、日報ファイル登録画面が開きますので、フォルダ名、ファイル名を入力し、[OK]をクリックします。(日報ファイル作成を例に説明しています) 日報ファイルの登録作業が開始します。



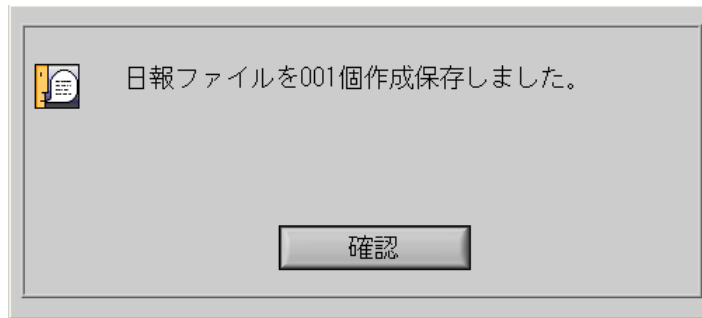
日報ファイル登録画面

登録が開始されると、日報ファイルの書き込みが始まり処理中の画面が表示されます。



日報書き込み中画面

書き込みが終了すると、下図のメッセージが表示され、日報ファイルの作成は完了します。

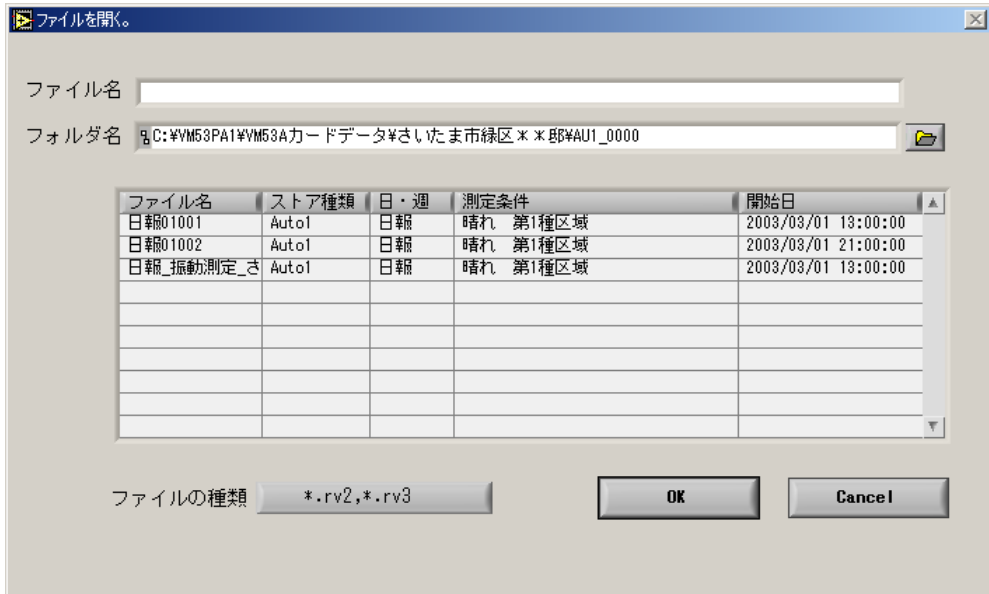


日報ファイル作成保存画面

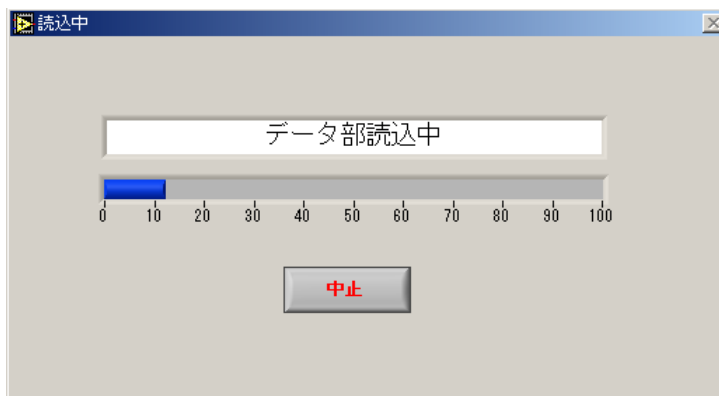
週報ファイルの作成も、日報ファイルの作成と同様に行ないます。

日報・週報データ表示

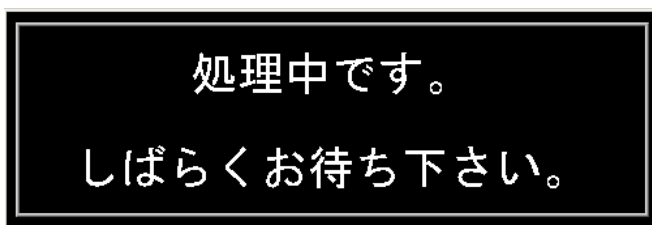
メニュー画面で[日報・週報データ表示]をクリックすると下図が表示されます。
フォルダ名を入力すると日報・週報ファイルの一覧が表示されるので、表示したい
ファイル名を指定し、[OK]をクリックします。



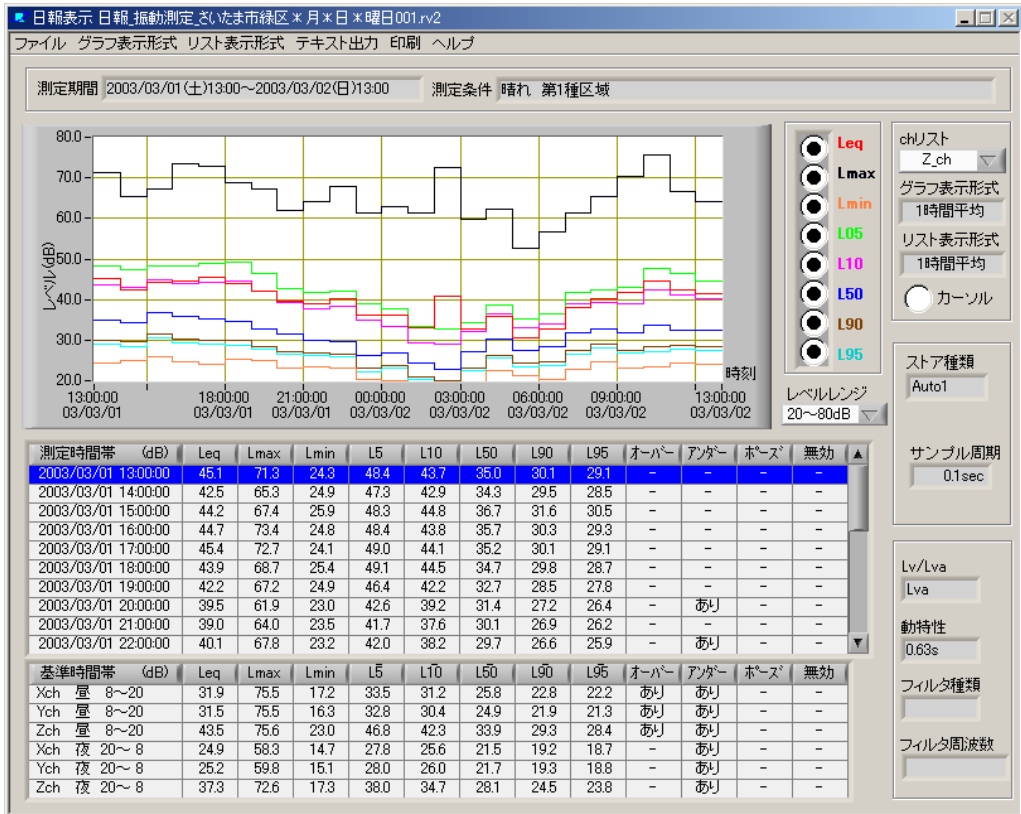
ファイルからデータの読み込みを開始します。



データを読み込み後、表示するための処理をします。



データ処理が終了すると、日報表示画面または週報表示画面が開きます。
画面では、時間毎の演算結果や時間帯区分の演算結果が表示されます。



日報データ表示例

ファイル： 日報ファイルまたは週報ファイルを開くまたは日報・週報を閉じることができます。

グラフ表示形式：

グラフ表示において、同時間平均/1時間毎平均/測定値を選択し、表示することができます。

1時間毎平均 測定データが1時間ごとの平均値として表示されます。

測定値 実際の測定データとして表示されます。平均は行いません。

Auto2データのみ選択で可能です。

同時間平均 週報において、週報を構成する複数日の同じ時間帯での測定値を平均して表示します。

例えば、月曜日から金曜日までのデータとしたときに10時台のデータは、月曜日から金曜日までの5日間の10時～11時までの平均された値が表示されます。

- | | |
|----|--|
| 日報 | Auto1データ、VM-52Aデータの場合は、1時間毎平均に固定されます。 |
| | Auto2データは、1時間毎平均または測定値の選択ができます。 |
| 週報 | Auto1データ、VM-52Aデータの場合は、同時間平均または1時間毎平均の選択ができます。 |
| | Auto2データは、同時間平均、1時間毎平均、測定値の選択ができます。 |

リスト表示形式：

リスト表示は測定時間帯表示と基準時間帯表示の2種類です。
測定時間帯表示においては、同時間平均 / 1時間毎平均 / 測定値を選択し、表示することができます。

- | | |
|--------|--|
| 1時間毎平均 | 測定データが1時間毎の平均値として表示されます。 |
| 測定値 | 実際の測定データとして表示されます。平均は行ないません。Auto2データのみ選択で可能です。 |
| 同時間平均 | 週報において、週報を構成する複数日の同じ時間帯での測定値を平均して表示します。
例えば、月曜日から金曜日までのデータとしたときに10時台のデータは、月曜日から金曜日までの5日間の10時～11時までの平均された値が表示されます。 |

基準時間帯表示：

昼 / 夜の時間帯別のデータが表示されます。

- | | |
|----|--|
| 日報 | Auto1データ、VM-52Aデータの場合は、1時間毎平均に固定されます。 |
| | Auto2データは、1時間毎平均または測定値の選択ができます。 |
| 週報 | Auto1データ、VM-52Aデータの場合は、同時間平均または1時間毎平均の選択ができます。 |
| | Auto2データは、同時間平均、1時間毎平均、測定値の選択ができます。 |

テキスト出力：

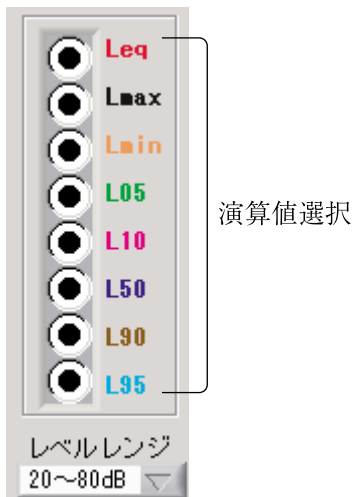
測定データをCSV形式ファイルで保存します。

- 印刷： 画面のハードコピーを行ないます。

測定期間 2003/03/01(土)13:00~2003/03/02(日)13:00 測定条件 晴れ 第1種区域

測定期間： 測定データの測定期間が表示されます。

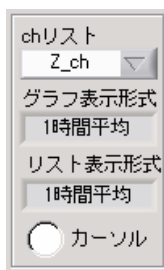
測定条件： データ取り込みで登録時に入力した測定条件が表示されます。



演算値選択： グラフ表示の演算値を選択します。

chリストで選択されたチャンネルの演算結果が表示されます。

レベルレンジ： グラフ画面表示のレベルレンジを設定します。



- ch リスト： 表示データのチャンネルを選択します。
VM-53 / 53Aのデータのみ選択でき、グラフ表示とリスト表示
(基準時間帯のデータ表示を除く)の両方に対応します。
- グラフ表示形式：
グラフ表示形式を示します。
- リスト表示形式：
リスト表示形式を示します。
- カーソル： リスト表示で選択したデータにカーソルが移動します。カーソルはグラフに表示されます。
カーソルは、グラフ表示形式とリスト表示形式の表示形式が同じ時に表示できます。

ストア種類
Auto1
サンプル周期
0.1sec

ストア種類： スストアデータのデータ種類が表示されます。

VM-53/53A: Auto1 または Auto2

VM-52A: VM-52A

サンプル周期(Auto1、VM-52A データのみ):

測定データのサンプル周期が表示されます。

観測時間(Auto2 データのみ):

インターバル測定の場合、インターバルの時間間隔が表示され
ます。

インターバル測定でない場合は、演算時間が表示されます。

実測時間(Auto2 データのみ):

測定データの実測時間が表示されます。

インターバル測定の場合、インターバルによる待機時間が除か
れた実測時間となります。

Lv / Lva
Lva
動特性
0.63s
フィルタ種類
フィルタ周波数

Lv / Lva: 測定データのLv / Lva(周波数補正)が表示されます。

動特性: 0.63sが表示されます。

フィルタ種類: 表示されません。

フィルタ周波数: 表示されません。

カード設定情報ファイル

VM-53Aの設定情報が記録されたCFカードの設定情報表示、または設定情報を変更して新たなカード設定情報ファイルを作成することができます。

設定情報が記録されたカードを挿入した状態で、Pause キーを押しながら VM-53A を起動すると、CFカード内の設定情報が有効になります。

メニュー画面で[VM-53A カード設定情報ファイル作成]を選択すると、メモリーカード設定情報の読み込み / 登録画面が表示されます。

メモリーカード設定情報の読み込み / 登録画面

読み込み作業

設定情報の記録されたCFカードをパソコンのカードスロットに差し込み、フォルダを指定して読み込むと、設定情報画面上で各設定情報が確認できます。

設定を変更して、CFカードへ登録することが可能です。

登録作業

画面上で設定した設定情報をCFカードや任意のフォルダに登録することができます。

なお、設定ファイルは上書きしかできません。設定ファイルを新規作成する場合には、ファイル名「SETTING.RVS」を作成し、VM-53PA1上で上書き保存してください。

ノート

VM-53A 本体に読み込む設定情報ファイルを作成(登録)する場合は、CFカードのルートディレクトリにファイル名をSETTINGとしてください。VM-53AはルートディレクトリのSETTINGファイルを読み込むようになっています。

フォルダ名

読み込みを行なっているフォルダ名が表示されます。

Display Lv / Lva

Lv/Lva の設定を行ないます。

Display メイン画面表示

メイン画面で表示している方向を選択します。

Display サブ画面表示

サブ画面で表示する画面種類を選択します。

3方向測定でない場合は、3方向バーグラフ画面とレベル - タイム3方向画面は選択できません。

Level Range

各3方向のレベルレンジを設定します。

System Meas.Time

測定時間を設定します。

Channel

測定する方向を設定します。

Output

ACOUT または DCOUT から選択します。

Store Mode

- Manual : ストアモードをマニュアルストアに設定します。
- Auto1 : ストアモードを Auto1 ストアに設定します。
Auto1 Samplingでサンプリング周期が設定できます。
- Auto2 : ストアモードを Auto2 ストアに設定します。
- Timer Auto1 : ストアモードを Timer Auto1 ストアに設定します。
Auto1 Samplingでサンプリング周期が設定できます。
タイマー開始 / 終了およびスリープモードの設定ができます。
- Timer Auto2 : ストアモードを Timer Auto2 ストアに設定します。
タイマー開始 / 終了およびスリープモードの設定ができます。
インターバルの設定ができます。

Serial Interface

On / Offが設定できます。

Baud rate

通信速度が設定できます。

[読み込み]

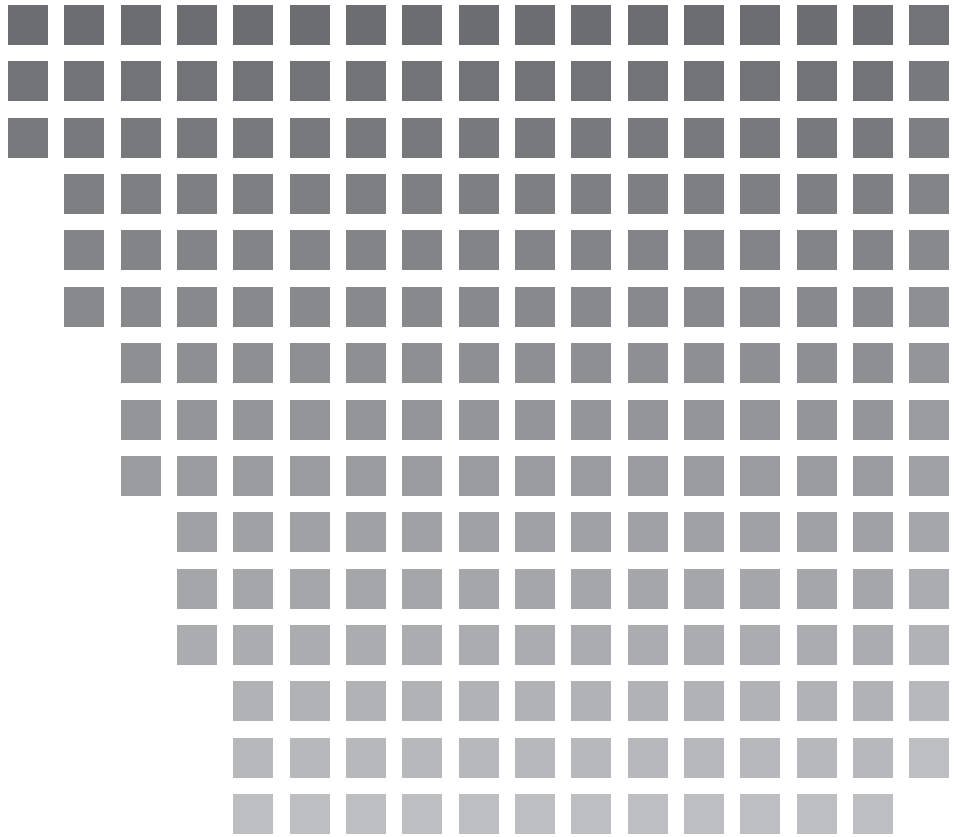
各種設定情報の読み込みを実行します。

[登録]

各種設定情報の登録を実行します。

[閉じる]

設定画面を終了し、メニュー画面に戻ります。



リオン株式会社

<http://www.rion.co.jp/>

本社／営業部

東京都国分寺市東元町 3 丁目 20 番 41 号
☎ 185-8533 TEL (042) 359-7887 (代表)
FAX (042) 359-7458

サービス窓口

リオンサービスセンター株式会社
東京都八王子市兵衛 2 丁目 22 番 2 号
☎ 192-0918 TEL (042) 632-1122
FAX (042) 632-1140

西日本営業所 大阪市北区梅田 2 丁目 5 番 5 号 横山ビル 6F
☎ 530-0001 TEL (06) 6346-3671 FAX (06) 6346-3673

東海営業所 名古屋市中区丸の内 2 丁目 3 番 23 号 和波ビル
☎ 460-0002 TEL (052) 232-0470 FAX (052) 232-0458

リオン計測器販売 (株)

さいたま市南区南浦和 2-40-2 南浦和ガーデンビルリブレ
☎ 336-0017 TEL (048) 813-5361 FAX (048) 813-5364

九州リオン (株) 福岡市博多区店屋町 5-22 朝日生命福岡第 2 ビル
☎ 812-0025 TEL (092) 281-5366 FAX (092) 291-2847